

## 呼吸器外科

### 1. スタッフ

科長（教授）	遠藤 俊輔 (センター長)
非常勤医員（教授）	坪地 宏嘉
医員（講師）	峯岸健太郎
（助教）	曾我部将哉
シニアレジデント	3名

同で再手術を含めた最善の治療を行っている。

- ・認定施設
- 外科専門医制度修練指定施設
- 呼吸器外科専門研修基幹施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- がん治療認定医認定研修施設

### 2. 当科の特徴

呼吸器外科は、肺癌、感染性肺疾患、気胸、膿胸、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫、重症筋無力症などの疾患に対して外科的治療を行っている。また、気道病変に対して硬性気管支鏡を含めた気道インターベンションを積極的に行っている。

1990年2月の第1例目の自然気胸手術から1992年度には手術症例数が50例を越え、1998年度には年間手術症例数が70例になった。呼吸器外科疾患の近年の需要に対応するため、2005年からは自治医科大学附属病院呼吸器外科から遠藤が赴任し、一診療科として独立した。2023年の手術症例は674例と、週平均約13件の手術を行った。肺癌手術症例は265例であり、全国トップ10の症例数であった。

当科では胸腔鏡手術を積極的に行っており、早期の肺癌はもとより、進行肺癌症例に対しても胸腔鏡手術を施行している。通常の手術と比較し手術後の痛みも軽度で、早期の社会復帰を可能にしている。また術後にPET検査を行い再発肺がんの早期診断治療に心がけている。不幸にも再発した肺癌症例でも呼吸器科、放射線治療科と共に

### ・資格

日本外科学会指導医	遠藤俊輔 他1名
外科専門医	遠藤俊輔 他4名
日本呼吸器外科学会指導医	遠藤俊輔
呼吸器外科専門医	遠藤俊輔 他3名
日本呼吸器学会指導医	遠藤俊輔 他1名
呼吸器専門医	遠藤俊輔 他2名
気管支鏡指導医	遠藤俊輔 他2名
気管支鏡専門医	遠藤俊輔 他2名
がん治療認定医	峯岸健太郎

### 3. 実績・クリニカルインディケーター

2023年の手術症例数 合計674例

疾患	手術数
原発性肺癌	265
転移性肺腫瘍	52
縦隔腫瘍	56
気胸	124
膿胸	59
気管支鏡治療	28
その他	90

## 肺癌治療成績

当科で手術を行った肺癌の治療成績は、IA期91% IB期76% IIA期77% IIB期75% IIIA期48% IIIB期25%と良好な成績であった。

療法後の症例の対する外科治療成績を向上させる。学会発表活動をさら活発にし、論文発表数の増加に努める。

## 4. カンファランス

呼吸器系合同カンファランス（内科・外科・放射線科・病理）

毎週水曜日 17:30 本館5階カンファラス室

呼吸器外科カンファランス

毎週月・木曜日 8:00 本館5階カンファラス室

外科系合同カンファランス（消化器・呼吸器・循環器）

毎月第4月曜日18:00 南館2階講堂

## 5. 研究・学会活動

原著論文 12編

学会発表 45題

著書・総説 2編

研究会講演 4題

## 6. 事業計画

2023年の目標達成度

手術症例数は674例で、過去最高数の手術を行った。肺癌に対する胸腔鏡手術についての治療成績は、急性期と遠隔期いずれも満足できる結果が得られた。

2024年の目標

摘出肺癌の遺伝子解析による術後のオーダーメイド治療に関する研究やバイオマークーに関する研究を進めるとともに、再発癌や二次癌、術前化学療法／化学放射線